

コロナ禍のあとにくるもの【理事長コラム】

現在、緊急事態宣言が段階的に解除されつつあり、日常生活も元に戻りつつあります。

しかし、第二波の恐れがあり、感染防止の生活のあり方が大分変わってきております。

もうひとつ、コロナ禍のより私たちの心の健康が脅かされています。緊張していた心が、若干ほぐれると、疲れが一気に出てきて、不眠や食欲不振が起きることがあります。一種の軽いうつ状態です。

自然に治る場合が多いようですが、2週間以上続く場合は、医者に相談された方が良いでしょう。



理事長 田中 誠

寄付をいただきました



- ・南知多ライオンズクラブより非接触体温計（1台）
- ・ご利用者のご家族より不織布マスク（200枚）

ご寄付をいただき誠にありがとうございます。感染予防のために大事に使わせていただきます。



おやつ時間に喫茶店を行いました

南知多町デイサービスでおやつ時間に喫茶店を行いました。

飲み物のメニューは、コーヒー・紅茶・お茶・抹茶のセレクトです。

1番人気はコーヒーで、次に抹茶が多いです。

お菓子は勿論、皆さまの大好物「お饅頭」です。

今月のお饅頭は母の日にちなんで、カーネーションの模様です。中身は抹茶餡とクリームが入っており、和洋を楽しむ事ができました。

あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース



2020年6月 あじさい号



花の苗の寄付をいただきました



南知多町役場より花の苗の寄付をいただきました。

あい寿の丘、みなみ苑、南知多町デイサービス、ひだまり、そよかぜデイサービスで分け、それぞれの花壇や鉢へご利用者と一緒に植えました。

毎日、ご利用者・職員が水やりをして、大きく綺麗な花が咲くことを楽しみにしています。



みなみ苑でアマビエを作りました

日本政府公認キャラクター・アマビエを作りました。

江戸時代末期に現れ「病気が流行したら自分の姿を写して人々に見せるように」と伝え海中に消えたと言われる伝説の妖怪です。

テレビを観ても新聞を見ても「自粛」の中アマビエ様を見てホッコリ、少しでも心穏やかに気がまぎれると良いですね。



5月のおやつと言えば柏餅です

節句は終わってしまいましたが、みなみ苑では柏に包まれていない柏餅を作りました。

粉を混ぜて練って蒸してついて包んでと美味しく出来上がりました。

ご利用者には「おいしいね」「軟らかくてきてるね」「来月は何を作ってくれる？」と喜んで頂きました。



屋台風の昼食を楽しみました

5月にさわやか祭を開催する予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止とさせていただきます。

そのため、楽しみにしていた屋台の食べ物も無くなるのは寂しいので、昼食に屋台の食べ物をがんばって作り提供しました。

いつもと違う食事で皆さん大喜びでした。

そよかぜのラジオ体操



おやつの前に、ラジオ体操をして体を動かしました。ひとつひとつの動きをしっかりと行くと、汗がじんわりと出て来ます。日頃動かしていないところも伸ばしたり曲げたりして良い運動になりました。

ひだまりでバナナジュース作り

暑い日が続いたので冷凍庫で凍らせたバナナを使ってジュースを作ってみました。

職員がバナナを切っていると「何作ってるの？」と興味深々なご利用者。砂糖を入れて味付けをしていると「はちみつを入れてもおいしそうだね」と話が盛り上がりました。

完成したジュースは「甘くておいしいね」「ひんやりして気持ちいいよ」と好評でした。



カラオケを楽しみました

新型コロナウイルスの影響で外出やイベントが出来ない中、ご利用者のリクエストでカラオケを行いました。

一人で3曲も唄われる方や盛り上げ役をして下さる方、「恥ずかしいから」と言われながらも一人じゃ無ければと一緒に唄われる方と皆さん各々に楽しんでいました。

そよかぜで母の日の手紙

母の日に向け、男性ご利用者から奥様宛に日頃の感謝の気持ちを書いてもらいました。

はじめは「何て書くだー。」と、照れてなかなかペンが進みませんでした。皆さまは思い思いに日頃の感謝の気持ちを書いてくれました。

メッセージカードはその日に、奥様に感謝の言葉と共に渡して頂きました。



デイサービスの壁面作り



テーマは「空高く、およぐや鯉のぼり」。ご利用者がカラフルな色紙をちぎって貼り、鯉の鱗を素敵な色合いでコーディネートをして下さいました。花は、あやめ？菖蒲？さてどちら？見る方の感覚によって受け止め方は違いますが上手に出来ました。